

鶴岡市地域まちづくり未来事業計画

平成31年3月策定
令和7年3月変更



鶴岡市

目 次

第 1 地域まちづくり未来事業計画について

1. 策定の趣旨	1
2. 計画期間	1
3. 計画の位置付け	2
4. 財源について	2
5. 選定基準について	2

第 2 地域振興の方針と施策の方向及び実施事業について

1. 鶴岡地域	3
2. 藤島地域	7
3. 羽黒地域	2 5
4. 櫛引地域	3 5
5. 朝日地域	4 6
6. 温海地域	5 8

第 1 地域まちづくり未来事業計画について

1. 策定の趣旨

この計画は、「地域まちづくり未来基金」の設置目的である地域社会・コミュニティの振興及び均衡ある発展を図るため、人口減少に立ち向かう、真に地域振興に資する取組として「地域まちづくり未来事業計画」の中に位置づけ、令和 9 年度までの向こう 3 年間に実施すべき主な事業を明らかにするものです。

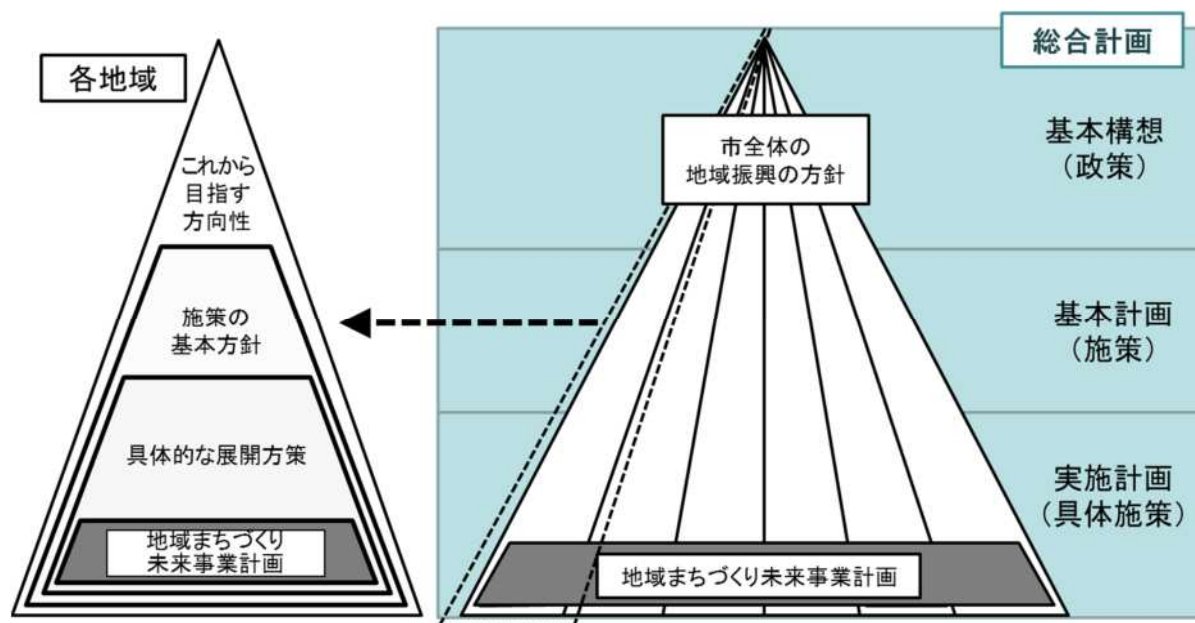
また、策定にあたっては、全ての地域が個性を発揮し、その魅力を高めるとともに、人材を育成していくまちづくり活動を活性化できるよう、旧町村地域においては、庁舎が主体となり、関係団体や地区住民らとの合意形成を図りながら、各地域振興懇談会などにおいて意見交換を行ったうえで、事業立案を行っています。一方鶴岡地域においては、広域コミュニティ組織が主体となり、住民自治組織毎に策定した地域ビジョンに位置付けられた事業等について応募し、市の審査会により対象事業が決定され、事業を実施しています。

2. 計画期間

2025（令和 7 年）年度から概ね 3 年程度とし、年度ごとに見直しを行います。

3. 計画の位置付け

地域まちづくり未来事業は、第2次総合計画（計画期間：2019（平成31）年度から10年間）及び各地域の地域振興計画（計画期間：2024（令和6）年度から5年間）において、地域振興の方針を実現するためのより具体的な施策として位置づけられます。



【総合計画と各地域の地域振興計画、地域まちづくり未来事業計画の関係】

4. 財源について

地域まちづくり未来事業は、主な財源として「地域まちづくり未来基金」を充てるほか、起債や国・県等の交付金なども活用します。

第2 地域振興の方針と施策の方向及び実施事業について

1. 鶴岡地域

○ 地域の方向性

これまで鶴岡地域では、社会情勢の変化を捉えて、全国に先駆け住民の自主的なコミュニティ活動の拠点づくりを進め、平野部から中山間部、海岸部にわたる多様で豊かな環境のもと、特色ある地域づくりを押し進めてきました。

このような地域の優れた特性を次世代に継承し、誇りと愛着を持って暮らしていけるまちを創るため、市民によるコミュニティ活動のさらなる推進とその担い手の育成をめざし、鶴岡地域にとどまらず市全体の地域振興の方向性として、「まちづくり」、「ひとづくり」の取組を進めます。

○ 地域の基本方針（総合計画第7章 地域の振興）

（1）未来を見すえた住民主体のまちづくりの推進

住民が主体的に取り組む地域ビジョンの策定を支援し、多様化する課題を持つ市街地及び郊外地それぞれの地域の実情に対応しながら、地域の特性を最大限に発揮できるような課題解決力のあるコミュニティの構築に努めます。

また、鶴岡地域が、城下町としての面影や歴史的風情を保ちつつ、医療、福祉、商業、学術などの都市機能が集積され、地域の活力を維持する中心的な役割を果たすなかで、人が集まりやすい立地の特性を生かし、様々な人々が集い交わる場を創ります。

こうした、多様な交流から新たな価値を生み出し、地域を元気にしていく芽を育て、未来を見すえた住民主体のまちづくりを推進します。

[主な施策]

- ① 広域コミュニティ組織の地域課題解決力の向上
- ② 新たな市民活動や地域活動の創出

（2）地域の明日を担う人材の確保・育成

地域がその特性を踏まえて自ら考え、地域づくりに取り組んでいけるよう、若者がいきいきと活躍できる環境を整え、多様な学びの場を創出します。

また、自然、歴史、文化など特色ある地域資源を活用した地域づくり活動を支援し、地域の明日を担う人材の育成を図ります。

[主な施策]

- ① 若者の地域づくり参画促進
- ② 学びの促進
- ③ 地域づくり人材の育成

○実施事業

地域振興計画 基本方針 (総合計画 小項目)	(1) 未来を見すえた住民主体のまちづくりの推進				
主な施策	① 広域コミュニティ組織の地域課題解決力の向上				
概要・目的	広域コミュニティ組織が行う、課題解決に向けた取組みや活動基盤の強化といった未来を見すえた住民主体のまちづくりを地域まちづくり未来事業などにより支援し、住みよい、活力あふれる地域コミュニティを構築する。				
具体的な展開方策	ア. 地域ビジョン策定及び実践支援 イ. 地域課題解決に取り組む広域コミュニティ組織への活動支援				
実施 スケジュール	具体的な事業項目		R7 予算額 (千円)	R7	R8
	a	鶴岡地域まちづくり未来事業	20,152	○	○

※鶴岡地域まちづくり未来事業

鶴岡地域の広域コミュニティ組織（21地区のコミュニティセンター単位）から提案された事業の採択について、外部有識者を含む審査会で審査する。採択された事業について補助金を交付する。

補助対象となる事業は、次の各号のいずれかに該当するものとする。

ただし、主に経常的な経費を内容とする事業や全市統一的な調整が必要な事業を除く。

- (1) 地域ビジョンに基づく事業（同一内容の事業は3回までとする。）
- (2) 鶴岡地域まちづくり未来事業プロジェクトに基づく事業（この号に規定する事業による補助金の交付を受けた回数が3回に満たない組織が実施するものに限る。）
- (3) 第2期鶴岡市地域コミュニティ推進計画に基づく事業（本事業の補助金の交付を受けたことのない組織が実施するものに限る。）

[参考資料]

○ これまでの取組み（R6）

団体名	事業内容	予算額
加茂地区自治振興会	「地域になじみがない、愛着がない＝加茂から出ていく」のサイクルを止めるため、加茂で楽しいことをやる！の第1弾として、大判焼きを若者たちで作る。中の具材を加茂風（加茂の漁師や水高生が獲ってきた魚介を入れてなど）にアレンジし、加茂でしか食べられない大判焼きをイベントなどで販売する。 若者が地域に出るきっかけを作り、加茂地区内・外の子供や若者が加茂で集って楽しめる場所づくりをする。	342 千円
三瀬地区自治会	・「研修会 ～パネルディスカッションと意見交換会～」 鳥取大学の筒井先生と、山形大学の熊谷先生を招き、理事を中心とした研修会を行う。 ・「防災ハンドブック作成 / 防災キャンプ」 避難所開設を行いながら模擬キャンプを行う。合間に三瀬版の防災ハンドブックづくりのアイディア出しを行う。 ・「地区の夏まつりや、地区外イベントへの出展と出店」 昨年度作成の「おらほのノート」の販売を通し、地域の資源をPRする。	442 千円
第六学区コミュニティネットワーク	・SDGsの開発目標と第六学区コミュニティネットワークの事業を関連づけ、子ども食堂の開設に向けた準備、災害発生時に備えるための防災マップの見直し等今年度重点的に取り組むべき内容を明確にし、具現化を目指す。 ・昨年度末に1度実施した「フードドライブ」「フードパントリー」を計画的に実施し、支援を希望する家庭を地域で支えるという気持ちを育てる。交流居場所「はろ〜くらぶ」における事業の発展を図る。	525 千円
由良自治会	恵まれた自然、新鮮で豊富な魚介類、古の歴史・文化などの地域資源について、だれでも・いつでも・どこからでも情報発信・受信・交換・共有することができる“ゆら”まると「インフルエンサー」をキャッチコピーに、「LINEよろず相談所」の開設、料理教室の実施、情報案内板の設置、マルシェの開催など、住民のみんなが自分ごととしてまちづくりに参画し『ゆら“未来予想図”』の実現を目指す。	4,000 千円

団体名	事業内容	予算額
第三学区コミュニティ協議会	1) SUN楽区を巡る 名所、文化財が集中する学区中心部だけでなく、学区全体を巡るイベントを開催。学区の魅力などを再認識する。 2) SUN楽区で競う 老若男女が参加できるイベントを通じ、幅広い世代が交流を図ることができる場を設定する。 3) SUN楽区に集う 町内会、育成会の規模がまちまちであることから、「集う場」の開催が困難なことを含め、学区全体で集い 楽しみ盛り上がる場を設定する。 4) 1～3の各取組みを映像で記録・編集を行い配信を行う。学区在住者はもちろん、就職、進学、結婚などで学区を離れた人々にも第三学区と学区住民の生き生きとした姿を伝える。 5) イベントを通じて多世代の交流を促進しつつ、将来に向けての事業策定や地域のビジョン策定のための勉強会の開催を行う。	2,459 千円
小堅地区自治振興会	・こがたランド内の空き部屋に、親子でサステイナビリティを考える新スペース「サステイナルーム」新設する。 ・まだ使えるものの循環を促すサーキュラーエコノミー「岩ゆりフリマ」を実施する。 ・サトモリツーリズムにおける体験型旅行プランの充実。	540 千円
湯田川地区自治振興会	・竹林に関して「管理を委託したい人」「管理する人」「イベントに参加したい人」のプロジェクト会員を募り、みんなで環境の維持を図る。 ・竹チップパーを導入し「野焼き処理」を少なくし環境を守るとともにチップを肥料として活用しコミュニティビジネスに繋げていけないかの試みにチャレンジする。 ・全世代で、竹関連の作業・イベントは楽しいというイメージを持ってもらうために多くの人が携われる行事を行う。	5,495 千円

2. 藤島地域

○ 施策の方向性

藤島地域は、多くの農業関係機関、団体などが集積し、稲作を中心とした農業が盛んに行われて来た地域です。このような地域特性を生かしながら、これまで実践してきた人と環境にやさしい農業の取組を継続し、安全安心な農産物の生産を支援し、農業を核とした地域づくりを推進します。また、経営形態に応じた多様な米づくりを支援するとともに、複合的農業経営への転換を図り、地産地消を推進し、農家所得の向上をめざす取組を行います。

藤島地域がこれまでまちづくりに活用してきた「ふじ」や伝統芸能である「獅子踊り」など、地域が育んできた貴重な歴史と文化を次世代にしっかりと継承していく取組を進めます。また、藤島歴史公園「Hisu 花（ヒスカ）」を地域資源として活用し、市内外の交流の拡大を図ります。

依然として進む少子高齢化に伴う人口減少を見据え、子どもの健やかな成長を育む教育環境の実現と魅力ある文厚エリアの検討、地域内の生活基盤を再構築する取組を進めるとともに、頻発する自然災害等にも対応できる地域特性に即した防災力の強化など、住民が安心して生活し、暮らしやすさを実感できる施策を展開します。

○ 地域の基本方針（総合計画第7章 地域の振興）

（1）未来に繋げる田園文化と多様な水田活用農業の振興

これまで実践してきた人と環境にやさしい農業の取組を継続し、安全安心な農産物の生産を推進します。また、大規模農業や有機農業などの経営形態に応じた多様な米づくりを支援します。

あわせて、農業経営の複合化を図るとともに、地産地消を推進し、農家所得の向上をめざすプロジェクトを展開します。

農業が縁となり、これまで築きあげてきた首都圏大学との交流や、優れた人材を輩出し地域の農業を支えてきた庄内農業高等学校などとの連携を強化します。

また、東部山麓の自然資源や文化資源を整備し、利活用を促進することで、住民のふるさと意識を醸成するとともに、地域の活性化を図ります。

[主な施策]

- ① 有機農業からスマート農業まで多様な米づくりの推進
- ② 関係機関の相互連携による技術習得と情報交換への支援
- ③ 地場産ブランド米の開発支援と販路拡大
- ④ 園芸作物の推進による複合経営の強化
- ⑤ 地域資源及び食農教育等を通じたふるさと意識の醸成
- ⑥ 産学官連携による地域づくり

(2) 歴史と文化、交流が彩るふじのまちづくりの推進

藤島地域を象徴する「ふじ」と獅子踊りなどの「伝統芸能」は、今後も重要なまちづくりの資源と捉え、地域に活力を生み、住民が誇りと愛着を持てる地域づくりにつなげていくとともに、地域内外にその魅力を発信し、交流人口の拡大と賑わい創出を図ります。

また、ふじのまちのシンボル施設として整備した藤島歴史公園「Hisu 花(ヒスカ)」と隣接する東田川文化記念館を活用した地域づくりや観光拠点化の推進を図り、それに関わるボランティアの育成などにも取り組みます。地域の資源や特性を生かした取組を一層発展させながら、多様な人々の関わりによる歴史と文化、交流が彩るまちづくりを推進します。

〔主な施策〕

- ① 藤島歴史公園「Hisu 花」を活用した藤島地域の魅力発信
- ② Hisu 花と東田川文化記念館を中心とする観光拠点化の推進
- ③ 東田川文化記念館の利活用の推進と魅力発信
- ④ 藤棚等の適正な維持管理の推進
- ⑤ 伝統芸能の育成と地域コミュニティづくり
- ⑥ まつりなどの賑わい創出による魅力発信強化と地域振興

(3) 暮らしやすい“藤島”を実感できる生活基盤の再構築

この地域に住みたいと思えるような、暮らしやすさを実感できる生活基盤の再構築に向けて、若者世代から選ばれる地域をめざした子育て・教育環境の充実と文厚エリアの整備推進を図ります。

地域公共交通のあり方など高齢者が社会参加しやすく、いきいきと充実した生活を送れるような仕組みを地域と協働で検討していきます。

また、庄内平野東縁断層帯※の南端部に位置し、藤島川と京田川の二つの河川が貫流する地理的な特性があることから、地震、大雨などの災害に備えて、防災機能の強化や地域防災力の充実を図ります。

〔主な施策〕

- ① 中学校改築を契機とする藤島文厚エリアの整備推進
- ② 安心して子育てできる地域を目指した環境整備
- ③ 公共交通空白地帯を生まない持続可能な公共交通体系の確保
- ④ 健康でいきいきと暮らせるしくみづくり
- ⑤ 地域防災力の強化

○ 実施事業

地域振興計画 基本方針 (総合計画 小項目)	(1) 未来に繋げる田園文化と多様な水田活用農業の振興					
主な施策	① 有機農業からスマート農業まで多様な米づくりの推進					
概 要	地域の特色である人と環境にやさしい米づくりを継続して推進するとともに、農家の大規模化に対応した低コスト・省力化技術等の習得を推進し、効率的な稲作経営の実現を支援します。					
具体的な展開方策 (地域振興計画)	ア スマート技術等の導入による低コスト省力化の推進 イ 有機・特別栽培技術の伝承 ウ 良質堆肥の生産と土づくりの推進					
実施 スケジュール	具体的な事業項目		R7 予算額 (千円)	R7	R8	R9
	a	藤島農産物元気事業	1,771	○	○	○
	b	藤島地域人と環境にやさしい 農業推進事業	427	○	○	○

[参考資料]

○ これまでの事業内容 (R6)

事業名	事業概要	予算額 (千円)
藤島農産物元気事業	藤島農産物元気食楽部の活動支援を行う。 ①スマート農業。②低コスト省力化稲作技術の実証及び技術支援。③土壌分析及び土づくりの徹底による高品質農産物の生産。④イベント出店。⑤技術向上のための講習会等の開催。⑥地場農産物の加工品開発。	1,883
藤島地域 人と環境 にやさしい農業推進 事業	①オーガニック・エコ産地拡大→地域内農業者への有機栽培講習会。②有機農産物等首都圏交流推進→首都圏消費者との交流と販路拡大。③安全安心農業イメージアップ→GAP 認証の取得の啓発や食品安全・環境保全等の強化。④地産地消の推進→サンサン畑の会の支援。野菜栽培講習会の開催。⑤田んぼの生き物調査→藤島地域内の3小学校での田んぼの生き物調査の実施。	804

○ 実施事業

地域振興計画 基本方針 (総合計画 小項目)	(1) 未来に繋げる田園文化と多様な水田活用農業の振興					
主な施策	② 関係機関の相互連携による技術習得と情報交換への支援					
概要	県農業関係機関、JA等と連携し、基礎技術から高度技術まで幅広い研修等を実施するとともに、担い手農家の情報交換を支援します。					
具体的な展開方策	ア 各種研修会等の開催による情報交換 イ 実証圃展示による技術の習得 ウ 人と環境にやさしい農業の推進					
実施 スケジュール	具体的な事業項目		R7 予算額 (千円)	R7	R8	R9
	a	藤島農産物元気事業(再掲)	1,771	○	○	○
	b	藤島地域人と環境にやさしい 農業推進事業(再掲)	427	○	○	○

[参考資料]

○ これまでの事業内容 (R6)

事業名	事業概要	予算額 (千円)
藤島農産物元気事業(再掲)	藤島農産物元気食楽部の活動支援を行う。 ①スマート農業。②低コスト省力化稲作技術の実証及び技術支援。③土壌分析及び土づくりの徹底による高品質農産物の生産。④イベント出店。⑤技術向上のための講習会等の開催。⑥地場農産物の加工品開発。	1,883
藤島地域 人と環境にやさしい農業推進事業(再掲)	①オーガニック・エコ産地拡大→地域内農業者への有機栽培講習会。②有機農産物等首都圏交流推進→首都圏消費者との交流と販路拡大。③安全安心農業イメージアップ→GAP 認証の取得の啓発や食品安全・環境保全等の強化。④地産地消の推進→サンサン畑の会の支援。野菜栽培講習会の開催。⑤田んぼの生き物調査→藤島地域内の3小学校での田んぼの生き物調査の実施。	804

○ 実施事業

地域振興計画 基本方針 (総合計画 小項目)	(1) 未来に繋げる田園文化と多様な水田活用農業の振興					
主な施策	③地場産ブランド米の開発支援と販路拡大					
概要	地場産ブランド米の開発を支援するとともに、地産地消を推進します。また、ふるさと納税や首都圏イベントにおけるPRなど販路拡大を図ります。					
具体的な展開方策	ア 独自ブランド米の確立と販売強化					
実施 スケジュール	具体的な事業項目		R7 予算額 (千円)	R7	R8	R9
	a	藤島農産物元気事業(再掲)	1,771	○	○	○

[参考資料]

○ これまでの事業内容 (R6)

事業名	事業概要	予算額 (千円)
藤島農産物元気事業(再掲)	藤島農産物元気食楽部の活動支援を行う。 ①スマート農業。②低コスト省力化稲作技術の実証及び技術支援。③土壌分析及び土づくりの徹底による高品質農産物の生産。④イベント出店。⑤技術向上のための講習会等の開催。⑥地場農産物の加工品開発。	1,883

○ 実施事業

地域振興計画 基本方針 (総合計画 小項目)	(1) 未来に繋げる田園文化と多様な水田活用農業の振興					
主な施策	④園芸作物の推進による複合経営の強化					
概要	農業経営の安定化に向け、非主食用の新規需要米の生産拡大や、大豆などの水田を活用した土地利用型園芸作物を振興して水田における稲作との複合経営を推進します。					
具体的な展開方策	ア 土地利用型園芸作物の推進 イ 6次産業化の推進 ウ 産直施設を活用した販売拡大					
実施 スケジュール	具体的な事業項目		R7 予算額 (千円)	R7	R8	R9
	a	藤島農産物元気事業(再掲)	1,771	○	○	○

[参考資料]

○ これまでの事業内容 (R6)

事業名	事業概要	予算額 (千円)
藤島農産物元気事業(再掲)	藤島農産物元気食楽部の活動支援を行う。 ①スマート農業。②低コスト省力化稲作技術の実証及び技術支援。③土壌分析及び土づくりの徹底による高品質農産物の生産。④イベント出店。⑤技術向上のための講習会等の開催。⑥地場農産物の加工品開発。	1,883

○ 実施事業

地域振興計画 基本方針 (総合計画 小項目)	(1) 未来に繋げる田園文化と多様な水田活用農業の振興					
主な施策	⑤地域資源及び食農教育等を通じたふるさと意識の醸成					
概要	新鮮な地元農産物を学校給食に供給する団体を支援し、地産地消率の向上を図ります。また、食農教育や田んぼの生き物調査などの農業体験学習を通して子どもたちが農業の未来や魅力に関心を持ち、地域への誇りと愛着を育む取組を行います。 また、東部山麓の自然資源や文化資源を整備し、利活用を促進することで、ふるさと意識を醸成するとともに、賑わいを創出し、地域の活性化を図ります。					
具体的な展開方策	ア 水田を活用した環境保全機能の学習 イ 自然資源等を活用した地域振興 ウ 地産地消の推進					
実施 スケジュール	具体的な事業項目		R7 予算額 (千円)	R7	R8	R9
	a	藤島地域人と環境にやさしい 農業推進事業(再掲)	427	○	○	○
	b	藤島地域里山整備活性化事業	100	○	○	○

[参考資料]

○ これまでの事業内容 (R6)

事業名	事業概要	予算額 (千円)
藤島地域 人と環境 にやさしい農業推進 事業(再掲)	①オーガニック・エコ産地拡大→地域内農業者への有機栽培講習会。②有機農産物等首都圏交流推進→首都圏消費者との交流と販路拡大。③安全安心農業イメージアップ→GAP 認証の取得の啓発や食品安全・環境保全等の強化。④地産地消の推進→サンサン畑の会の支援。野菜栽培講習会の開催。⑤田んぼの生き物調査→藤島地域内の3小学校での田んぼの生き物調査の実施。	804
藤島地域里山整備 活性化事業	歴史ある添川地区の里山である東部山麓の自然資源や文化資源を活用した活動を強化するため、歴史探訪散策路等の整備を実施する。→地元が行う散策路等整備への原材料等の支給。	100

○ 実施事業

地域振興計画 基本方針 (総合計画 小項目)	(1) 未来に繋げる田園文化と多様な水田活用農業の振興					
主な施策	⑥産学官連携による地域づくり					
目的	庄内農業高等学校と地域、農業関連団体などが連携して、学生の地域活動への参画を支援し、地域とともにありつづける魅力ある学校づくりを推進します。また、首都圏の大学との連携により農産物のPRを行い、首都圏と地域の交流を推進します。					
具体的な展開方策	ア 庄内農業高等学校との地域連携の推進 イ 首都圏大学を活用した地域PRの推進					
実施 スケジュール	具体的な事業項目		R7 予算額 (千円)	R7	R8	R9
	a	庄内農業高等学校地域連携事業	1,000	○	○	○
	b	藤島地域農の魅力拡大事業	2,394	○	○	○

[参考資料]

○ これまでの事業内容 (R6)

事業名	事業概要	予算額 (千円)
庄内農業高等学校 地域連携事業	実業高校としての特色ある取り組みや地元に着し地域を担う人材育成につながる取り組みを支援。地域連携協議会への補助。食文化創造都市の魅力体験、6次産業化支援、庄農うどん大作戦支援、福祉団体と連携した交流農園活動など。	1,000
藤島地域農の魅力 拡大事業	①若手農業者美味しいごはんコンクール事業の開催。②関係の深い首都圏大学学生による鶴岡産米のPR活動の展開。③ふるさと返礼品のブラッシュアップ	2,794

○ 実施事業

地域振興計画 基本方針 (総合計画 小項目)	(1) 歴史と文化、交流が彩るふじのまちづくりの推進					
主な施策	①藤島歴史公園「Hisu 花」を活用した藤島地域の魅力発信					
概要	藤島歴史公園「Hisu 花」から始まる地域づくりとして、市民が Hisu 花を拠点にまちづくりや公園活用を検討できる場を設定します。また、ふじの花のライトアップやオフシーズンのイルミネーション点灯など、四季を通じた魅力発信を行い、公園の価値を高める環境整備に努めます。					
具体的な展開方策	ア ふじの花のライトアップとイルミネーション等による魅力発信 イ 藤島歴史公園「Hisu 花」から始まる地域づくり ウ 藤島歴史公園の利用、誘客につながる環境の整備					
実施 スケジュール	具体的な事業項目		R7 予算額 (千円)	R7	R8	R9
	a	藤島歴史公園「Hisu 花」魅力発信事業	3,819	○	○	○
	b	藤島歴史公園「Hisu 花」から始まる地域づくり事業	300	○	○	○

[参考資料]

○ これまでの事業内容 (R6)

事業名	事業概要	予算額 (千円)
藤島歴史公園「Hisu 花」魅力発信事業	ふじ棚のライトアップやオフシーズンのふじ棚などへのイルミネーションを設置し、交流人口の拡大と地域の賑わい創出を図る。→イルミネーション設置(委託事業)、イルミネーションの更新、電気資材購入。	3,652
藤島歴史公園「Hisu 花」から始まる地域づくり事業	歴史公園を交流拠点とするためのワークショップの開催とイルミネーションイベントの実施→H30から活動しているHisu花ワークショップが主体となり実施するイルミネーションイベントへの支援を行う。	300
藤島歴史公園案内表示板整備事業	東田川文化記念館と歴史公園の一体的な拠点整備による来訪者の利便性の向上。→①案内表示板の設置(4基)②トイレ表示板の設置(男・女・身障者用の各表示板) (R7 は藤島地域観光拠点魅力アップ事業へ付替。R6 で終了)	1,400

○ 実施事業

地域振興計画 基本方針 (総合計画 小項目)	(1) 歴史と文化、交流が彩るふじのまちづくりの推進					
主な施策	② Hisu 花と東田川文化記念館を中心とする観光拠点化の推進					
概要	Hisu 花と東田川文化記念館を一体的な観光拠点と捉え、効果的な事業の展開や施設の充実を図り関係人口の増加を促進します。また、これらの資源を活用し、地元商工業者等との連携による観光振興に取り組みます。					
具体的な展開方策	ア 東田川文化記念館の魅力再発見と利活用の促進 イ Hisu 花と東田川文化記念館を中心とする観光事業の推進					
実施 スケジュール	具体的な事業項目		R7 予算額 (千円)	R7	R8	R9
	a	東田川文化記念館利活用事業	530	○	○	○
	b	藤島地域観光拠点魅力アップ事業	2,067	○	○	○

[参考資料]

○ これまでの事業内容 (R6)

事業名	事業概要	予算額 (千円)
東田川文化記念館 利活用事業	歴史的価値の理解を深め、住民が主体となって活用するためのソフト事業の展開→①「ふじしま歴史文化講座」の開催。②利活用懇談会の開催。③郷土サークルへの支援。	438
藤島地域観光拠点 魅力アップ事業	地域の花である藤が咲き誇る「藤島歴史公園」、国指定史跡「旧東田川郡役所及び郡会議事堂」を観光拠点とし、市民を巻き込んだ地域の力で魅力アップを発信。→①藤島地域観光パンフレット作成。②駅観光マップ作成。③藤の管理講習会の開催。④藤島地域観光ガイド。⑤観光ガイド育成。	1,784

○ 実施事業

地域振興計画 基本方針 (総合計画 小項目)	(1) 歴史と文化、交流が彩るふじのまちづくりの推進					
主な施策	③東田川文化記念館の利活用の推進と魅力発信					
概要	東田川文化記念館の利活用について地域住民と検討し、史跡としての歴史的価値を再認識できる情報発信などの事業を展開し文化意識の向上を図ります。					
具体的な展開方策	ア 地域学習・歴史学習の場としての活用の推進 イ 生涯を通じて楽しめる文化活動の拠点としての整備 ウ 地域との連携による魅力発信					
実施 スケジュール	具体的な事業項目		R7 予算額 (千円)	R7	R8	R9
	a	東田川文化記念館利活用事業(再掲)	530	○	○	○

[参考資料]

○ これまでの事業内容 (R6)

事業名	事業概要	予算額 (千円)
東田川文化記念館 利活用事業(再掲)	歴史的価値の理解を深め、住民が主体となって活用するためのソフト事業の展開→①「ふじしま歴史文化講座」の開催。②利活用懇談会の開催。③郷土サークルへの支援。	438

○ 実施事業

地域振興計画 基本方針 (総合計画 小項目)	(1) 歴史と文化、交流が彩るふじのまちづくりの推進					
主な施策	④藤棚等の適正な維持管理の推進					
概要	ふじのまちにふさわしい藤棚の適正な維持管理を推進するとともに、地域住民、ボランティアなどの住民の主体性を生かした藤棚の管理や花壇整備などの取組や活動を支援します。					
具体的な展開方策	ア ふじの管理ボランティア団体等の育成支援 イ ふじのまちにふさわしい藤棚等の維持管理の推進					
実施 スケジュール	具体的な事業項目		R7 予算額 (千円)	R7	R8	R9
	a	藤島花咲かせ活動支援事業	393	○	○	○
	b	ふじの里づくり事業	126	○	○	○
	c	藤棚の整備事業	3,960	○	○	○
	d	ふじのまちかど整備事業	3,500	○	○	○

[参考資料]

○ これまでの事業内容 (R6)

事業名	事業概要	予算額 (千円)
藤島花咲かせ活動 支援事業	藤島歴史公園等の藤棚や花壇の管理ボランティア支援→①藤棚管理技術指導業務委託。②藤棚育成・管理団体の育成支援。③藤管理エキスパート養成支援。④花咲かせ隊と庄内農業高等学校の花苗定植活動支援。	711
ふじの里づくり事業	町内会案内掲示板の塗装修繕事業。→ふじのまちにふさわしい環境整備。全町内会分を計画的に修繕(7町内会分を実施)	126
藤棚の整備事業	老朽化した藤棚の計画的な修繕。→ふじのまちにふさわしい環境整備として藤島体育館周辺の藤棚の老朽度の高い藤棚を選定し、21.6m(6スパン)分の修繕を実施した。	3,861
ふじのまちかど整備 事業	道路の老朽化藤棚の整備事業。全 25 基の木製藤棚をメッキ鋼製に交換していく→R6 は 3 期分として5基の交換を行った。	3,500

○ 実施事業

地域振興計画 基本方針 (総合計画 小項目)	(1) 歴史と文化、交流が彩るふじのまちづくりの推進					
主な施策	⑤伝統芸能の育成と地域コミュニティづくり					
概要	市内の伝統芸能の裾野を広げるイベントとして鶴岡伝統芸能祭を開催し、獅子の里「藤島」を発信します。あわせて、伝統芸能の保存伝承にも取り組みます。					
具体的な展開方策	ア 鶴岡伝統芸能祭の開催 イ 伝統芸能の伝承支援					
実施 スケジュール	具体的な事業項目		R7 予算額 (千円)	R7	R8	R9
	a	鶴岡伝統芸能祭開催事業	790	○	○	○

[参考資料]

○ これまでの事業内容 (R6)

事業名	事業概要	予算額 (千円)
鶴岡伝統芸能祭開催事業	鶴岡各地の伝統芸団体を招致しての伝統芸能祭を開催。 →伝統芸能祭を主催するふじしま夏まつり実行委員会への補助。	790

○ 実施事業

地域振興計画 基本方針 (総合計画 小項目)	(1) 歴史と文化、交流が彩るふじのまちづくりの推進					
主な施策	⑥まつりなどの賑わい創出による魅力発信強化と地域振興					
概要	地域のシンボル「ふじ」や「農業」をテーマとするまつり開催などの賑わい創出により地域内外への魅力発信を強化し、観光振興を促進します。					
具体的な展開方策	ア 「ふじ」や「農業」をテーマとする賑わい創出 イ 地元商工業者等との連携による地域振興 ウ 地域の魅力再発信と観光環境整備					
実施 スケジュール	具体的な事業項目		R7 予算額 (千円)	R7	R8	R9
	a	藤島地域観光拠点魅力アップ事業(再掲)	2,067	○	○	○

[参考資料]

○ これまでの事業内容 (R6)

事業名	事業概要	予算額 (千円)
藤島地域観光拠点 魅力アップ事業(再掲)	藤島歴史公園の「ふじ」、国指定史跡「旧東田川郡役所及び郡会議事堂」を観光拠点とし、市民を巻き込んだ地域の力で魅力アップを発信。→①藤島地域観光パンフレット作成。②駅観光マップ作成。③藤の管理講習会の開催。④藤島地域観光ガイド。⑤観光ガイド育成。	1,784

○ 実施事業

地域振興計画 基本方針 (総合計画 小項目)	(3) しやすい“藤島”を実感できる生活基盤の再構築					
主な施策	①中学校改築を契機とする藤島文厚エリアの整備推進					
概要	義務教育学校の整備に合わせ、文厚エリア内の土地利用や施設の再配置、統廃合となる東栄小学校、渡前小学校の利活用等の検討を進めることで、藤島地域の将来像を描き、子育て世代に選ばれる魅力的なまちづくりを進めます。					
具体的な展開方策	ア「藤島文厚エリア」の整備促進					
実施 スケジュール	具体的な事業項目		R7 予算額 (千円)	R7	R8	R9
	a	藤島文厚エリア等検討事業	588	○	○	○

[参考資料]

○ これまでの事業内容 (R6)

事業名	事業概要	予算額 (千円)
藤島文厚エリア検討事業	藤島中学校の建替えを機に、中心市街地に立地する老朽化した文教厚生に関する施設(中学校、児童館、武道館、旧福祉センター他)をエリア全体で総合的な配置計画を検討する。→教育施設については、小学校、中学校施設一体型の義務教育学校を整備する方針が定まった。R6 は関連施設(武道館・児童館)について、内部検討会議と複合化施設の先進地視察を実施し、整備計画の基礎資料づくりを進めた。	346

○ 実施事業

地域振興計画 基本方針 (総合計画 小項目)	(3) しやすい“藤島”を実感できる生活基盤の再構築					
主な施策	②安心して子育てできる地域を目指した環境整備					
概要	子育て世代が安心して子育てできる地域を目指した環境整備を行うため、老朽化が進んでいる児童館や保育園について、少子化の進展と子育て家庭のニーズを勘案した施設整備を検討し、子育て環境の充実を図ります。					
具体的な展開方策	ア 子育て支援施設・体制整備の検討					
実施 スケジュール	具体的な事業項目		R7 予算額 (千円)	R7	R8	R9
	a	藤島文厚エリア等検討事業(再掲)	588	○	○	○

[参考資料]

○ これまでの事業内容 (R6)

事業名	事業概要	予算額 (千円)
藤島文厚エリア検討 事業(再掲)	藤島中学校の建替えを機に、中心市街地に立地する老朽化した文教厚生に関する施設(中学校、児童館、武道館、旧福祉センター他)をエリア全体で総合的な配置計画を検討する。→教育施設については、小学校、中学校施設一体型の義務教育学校を整備する方針が定まった。R6 は関連施設(武道館・児童館)について、内部検討会議と複合化施設の先進地視察を実施し、整備計画の基礎資料づくりを進めた。	346

○ 実施事業

地域振興計画 基本方針 (総合計画 小項目)	(3) しやすい“藤島”を実感できる生活基盤の再構築					
主な施策	③公共交通空白地帯を生まない持続可能な公共交通体系の確保					
概要	藤島地域内の既存の地域公共交通網を活かしながら、住民の利便性向上と公共交通空白地帯を生まない持続可能な公共交通体系の確立をめざします。あわせて、交通ネットワークの充実や商工業振興につながる社会基盤の整備促進を図ります。					
具体的な展開方策	ア 地域公共交通の維持・発展					
実施 スケジュール	具体的な事業項目		R7 予算額 (千円)	R7	R8	R9
	a	長沼・八栄島地区地域公共交通導入事業	0 (一般財源化)			
	b	藤島地域公共交通再編事業	0 (一般財源化)			

[参考資料]

○ これまでの事業内容 (R6)

事業名	事業概要	予算額 (千円)
長沼・八栄島地区地域公共交通導入事業	長沼・八栄島地区への地域公共交通導入に向けた調査事業と最適な地域公共交通の運行支援。→地域が主体となり運営するデマンド型タクシーの実証運行(9月まで)から本格運行(10月から)への移行を実施するための補助金を交付した。	3,217
藤島地域公共交通再編事業	路線バスの廃止を視野に入れながら、既存の地域公共交通網を含めた藤島地域全体の公共交通の再編に取り組んだ。→R3年度の調査結果を基に再編に向けた関係機関との検討を進め令和7年4月1日より再編する運行計画をまとめた。	286

○ 実施事業

地域振興計画 基本方針 (総合計画 小項目)	(3) しやすい“藤島”を実感できる生活基盤の再構築					
主な施策	④健康でいきいきと暮らせるしくみづくり					
概要・目的	住民が健康でいきいきと暮らせる仕組みづくりとして、生涯スポーツなどに打ち込める環境整備に努めます。また、高齢者が生きがいを持って暮らし続けられるよう、社会参加の促進や買物弱者対策を進めるとともに、健康増進施設「長沼温泉ぽっぽの湯」などを活用したフレイル予防事業や子育て支援事業にも取り組みます					
具体的な展開方策	ア 生涯スポーツの推進 イ 高齢者・障害者の社会参加の促進 ウ 健康増進施設「長沼温泉ぽっぽの湯」の活用					
実施 スケジュール	具体的な事業項目		R7 予算額 (千円)	R7	R8	R9
	a	長沼温泉ぽっぽの湯活性化事業	730	○	○	○

[参考資料]

○ これまでの事業内容 (R6)

事業名	事業概要	予算額 (千円)
長沼温泉ぽっぽの湯活性化事業	健康増進施設としてすべての年代から利用してもらえる温泉を目指すため、特にフレイル予防事業で対象とならなかった子育て世代の親や家族に向けた取り組みを行う。 ①託児入浴の拡充 ②子育て講演、育児相談の実施 ③若者家族向けイベントの開催 ④健康事業の強化。	800

3. 羽黒地域

○地域の基本方針（総合計画第7章 地域の振興）

羽黒地域は、出羽三山とその門前町、ミシュラン・グリーンガイド・ジャポンで高い評価を得た羽黒山杉並木や国宝羽黒山五重塔、史跡松ヶ岡開墾場など、歴史的価値の高い観光資源に恵まれた地域です。

2つの日本遺産がある地域として魅力と価値を高め、少子高齢化や人口減少が進行する中でも、地域資源を活用して、活力にあふれる地域づくりを進めていきます。

観光面では、羽黒地域の歴史文化を広く発信し、国内のみならず、海外から訪れる観光客にも羽黒らしい自然や歴史、精神文化に触れる空間を提供できる観光づくりに取り組みます。

農業面では、耕畜連携による土づくりを推進し、農林作物の付加価値を高めます。また、地域特産物の販売方法の検討を進め、魅力ある農業の発展を支える人材育成や確保に取り組みます。

地域づくりでは、住民が安心して暮らすことができるように、住民主体の活動を支援するとともに、防災や地域交通対策などの地域課題の解決に向けて行政と地域が連携して取り組みます。

また、自然にふれあい、歴史・伝統文化の学びを通して郷土愛を育み、次世代を担う人づくりに取り組みます。

○ 地域の基本方針（総合計画第7章 地域の振興）

（1）人を惹きつけ魅力あふれる観光の推進

手向門前町の修景整備や出羽三山精進料理の魅力発信など、門前町としての魅力向上のための取組を推進します。

また、史跡松ヶ岡開墾場については、蚕室などの歴史や魅力を発信する拠点としての保存や活用の整備を進めるとともに、松ヶ岡地域への支援を継続します。

このほか、インバウンドなどに対応するため、周辺の環境整備に取り組みます。

多言語対応の観光案内や二次交通の検討を行うとともに、月山高原や映画村など羽黒地域全体の観光資源を活用した誘客・連携によって、通過型から周遊・滞在型の観光地への転換を目指します。

〔主な施策〕

- ① 出羽三山修験の里の歴史文化の継承と発信
- ② 史跡松ヶ岡開墾場の建造物の保存と活用による地域活性化
- ③ 映画ロケを活用した情報発信と地域経済の活性化
- ④ 観光施設の連携による周遊・滞在型観光誘客の充実

（２）地域の特色を生かし価値を高める農業の推進

羽黒地域の特産物や、気候や風土に適した収益性の高い農林作物の生産体制の確立、新品種導入や新たな栽培技術の導入等を支援するとともに、耕畜連携による付加価値の高い農業生産を目指します。

また、生産を支える多様な働き手の確保や、新たな販売方法の検討、地域農業の発展を支える人材育成に取り組みます。

〔主な施策〕

- ① 地域農業の発展を支える人材育成と多様な働き手の確保
- ② 収益性の高い農林作物の生産体制の確立
- ③ 耕畜連携による付加価値の高い農業生産の推進と農林作物の販路

（３）活力ある地域づくりを担う地域コミュニティの推進

防災、福祉その他の地域課題に対する、自治振興会と連携した取組に加え、次世代を担う人づくりに向け、地域内の豊かな自然や地域の歴史文化を伝える学習機会を提供し、郷土愛の醸成を図り、若者の定着、地元回帰を促進します。

また、住民活動の拠点施設である地域活動センターの計画的な整備、修繕などを図り、子育て世代や高齢者のほか、全ての世代が利用しやすい施設整備の検討に取り組みます。

さらに、地域住民が抱える課題が複雑化・多様化する中で、従来の支援体制ではニーズへの対応が困難になってきていることから、地域住民の多様な課題に寄り添う仕組みづくりを進めます。

高齢者などの交通弱者に対しては、買い物や通院時に利用する交通手段の確保と充実に取り組みます。

〔主な施策〕

- ① 住民主体によるコミュニティ活動の支援
- ② 豊かな自然・歴史文化を活用した教育の推進
- ③ 住民の多様な課題に寄り添う仕組みづくりの推進
- ④ 交通弱者の交通手段の確保と運行の充実

○ 実施事業

地域振興計画 基本方針 (総合計画 小項目)	(1) 人を惹きつけ魅力あふれる観光の推進					
主な施策	① 出羽三山・修験の里の歴史文化の継承と発信					
概要	手向地区では、門前町のまちなみ修景整備による歴史的風致を基軸としたまちづくりや、国指定の特別天然記念物であり、ミシュラン・グリーンガイド・ジャポンで三つ星を獲得している羽黒山杉並木の保全・活用を進めるほか、受け継がれてきた出羽三山の伝統行事や信仰、生活の中で育まれた固有の食文化の魅力を広く発信していき、交流人口の拡大を図る。					
具体的な展開方策	ア. 手向門前町の歴史的まちなみの整備推進と観光やまちづくりへの活用 イ. 羽黒山杉並木継承のための持続可能な保全活動の促進 ウ. 固有の食文化である出羽三山の精進料理の魅力発信					
実施 スケジュール	具体的な事業項目		R7 予算額 (千円)	R7	R8	R9
	a	手向地区持続可能な歴史まちづくり推進事業	6, 066	○	○	○
	b	大鳥居周辺花いっぱい事業	460	○	○	○
	c	羽黒山スギ並木保全計画策定事業	1, 750	○		
	d	出羽三山精進料理魅力発信事業	160	○	○	○
	e	羽黒山午年御縁年誘客対策事業	1, 450	○	○	

[参考資料]

○ これまでの事業内容 (R6)

事業名	事業概要	予算額 (千円)
門前町歴史まちづくり推進事業	手向まちなみ保全を目的とした修景整備への補助 まち歩き・講演会・情報発信支援	9, 124
大鳥居周辺花いっぱい事業	交通島（十文字）の花の植栽支援	486
羽黒山スギ並木保全計画策定事業	羽黒山スギ並木保全を目的とした保全・活用の計画策定支援	1, 260
出羽三山精進料理魅力発信事業	パンフレット作成等情報発信支援	160

○ 実施事業

地域振興計画 基本方針 (総合計画 小項目)	(1) 人を惹きつけ魅力あふれる観光の推進					
主な施策	② 史跡松ヶ岡開墾場の建造物の保存と活用による地域活性化					
概要・目的	松ヶ岡地区は、鶴岡シルクの発祥の地として貴重な歴史を伝える場所であり、「鶴岡市歴史的風致維持向上計画」の重点区域となっている。本計画と「国指定史跡松ヶ岡開墾場保存・活用計画」に基づき、史跡内建造物の保全等を図るとともに、「松ヶ岡地域振興ビジョン」の達成状況を検証し、地域が主体的に取り組む事業に対し支援を行う。					
具体的な展開方策	ア. 松ヶ岡地域が主体的に行う事業の支援 イ. 観光案内などの多言語対応の充実					
実施 スケジュール	具体的な事業項目		R7 予算額 (千円)	R7	R8	R9
	a	松ヶ岡魅力創出支援事業	850	○	○	○
	b	史跡松ヶ岡青空マルシェ支援事業	600	○	○	○

[参考資料]

○ これまでの事業内容 (R6)

事業名	事業概要	予算額 (千円)
松ヶ岡魅力創出支援事業	松ヶ岡地域の賑わいづくり、魅力発信・促進事業への支援	800

○ 実施事業

地域振興計画 基本方針 (総合計画 小項目)	(1) 人を惹きつけ魅力あふれる観光の推進					
主な施策	③ 映画ロケを活用した情報発信と地域経済の活性化					
概要・目的	映画村を舞台とした映画やドラマの撮影及び上映は、全国に本市の豊かな自然風景など魅力発信のツールとなるほか、スタッフ・演者の滞在やセット製作、必要機材の発注など多方面での経済効果が期待される。そのため、ロケ地として繰り返し選択されるよう誘致に対して支援する。					
具体的な展開方策	ア. 映画ロケに対する支援の充実					
実施 スケジュール	具体的な事業項目		R7 予算額 (千円)	R7	R8	R9
	a	映画ロケ等支援事業	350	○	○	○

[参考資料]

○ これまでの事業内容 (R6)

事業名	事業概要	予算額 (千円)
映画ロケ等支援事業	映画スタッフ等への特産品の提供、誘導看板・のぼり・パンフレット・ちらし作成支援	300

○ 実施事業

地域振興計画 基本方針 (総合計画 小項目)	(1) 人を惹きつけ魅力あふれる観光の推進					
主な施策	④ 観光施設の連携による周遊・滞在型観光誘客の充実					
概要・目的	庄内を一望できる月山高原エリアや、「生まれかわりの旅」と「サムライゆかりのシルク」の二つの日本遺産など、羽黒地域の豊かな自然と歴史的・文化的資源を活用して、羽黒町観光協会と連携しながらそれらを結ぶモデルコースを設定及び紹介することによって周遊・滞在型の観光を推進し、地域経済の活性化を図る。					
具体的な展開方策	ア. 月山高原エリアの認知度の向上 イ. 歴史文化と観光資源をつなぐモデルコースづくりと二次交通の検討					
実施 スケジュール	具体的な事業項目		R7 予算額 (千円)	R7	R8	R9
	a	太陽に輝くひまわり畑創出支援事業	966	○	○	○

○ 実施事業

地域振興計画 基本方針 (総合計画 小項目)	(2) 地域の特色を生かし価値を高める農業の推進					
主な施策	② 収益性の高い農林作物の生産体制の確立					
概要・目的	農家個々の所得向上とそれに伴う農業産出額全体の拡大を目指して、収益性の高い園芸作物等の作付拡大を図る。そのために必要となる農業用施設・機械の導入や果樹の優良品種への切り替えを支援する。					
具体的な展開方策	ア 気候や風土を生かした作物の生産振興 イ 産地交付金の対象となる重点品目の生産拡大への支援 ウ 月山高原エリア畑作団地における輪作体系の確立					
実施 スケジュール	具体的な事業項目		R7 予算額 (千円)	R7	R8	R9
	a	月山高原「黄金色の麦畑」創出事業	665	○	○	○

[参考資料]

○ これまでの事業内容 (R6)

事業名	事業概要	予算額 (千円)
月山高原「黄金色の麦畑」創出事業	小麦のブランド化に向け販売促進・情報発信、PRイベントに対する支援	732

○ 実施事業

地域振興計画 基本方針 (総合計画 小項目)	(3) 活力ある地域づくりを担う地域コミュニティの推進					
主な施策	① 住民主体によるコミュニティ活動の支援					
概要・目的	防災、福祉、その他の地域課題を解決するため自治振興会を中心とした住民による自立した地域づくりが推進されるよう地域運営への支援を行う。 また、地域活動の拠点となる地域活動センターにおいて、住民が学びや交流の場として快適に利用でき、かつ非常時において安全が確保できるよう計画的な施設整備の検討を進める。					
具体的な展開方策	ア 自治振興会を中心とした地域運営の支援 イ 泉地区地域活動センター整備と防災拠点としての機能強化					
実施 スケジュール	具体的な事業項目		R7 予算額 (千円)	R7	R8	R9
	a	広瀬さ行ってみっがプロジェクト支援事業	290	○	○	

○ 実施事業

地域振興計画 基本方針 (総合計画 小項目)	(3) 活力ある地域づくりを担う地域コミュニティの推進					
主な施策	② 豊かな自然・歴史文化を活用した教育の推進					
概要・目的	地域の歴史・文化・伝統のほか自然や産業などを学ぶ機会を創出し、学習、体験、交流を通して歴史的価値の高い観光資源に恵まれたふるさとのよさを知ることにより、地域文化の伝承と郷土愛の醸成を図り、若者の定着、地元回帰を促進する。					
具体的な展開方策	ア 羽黒愛を育む体験・交流等の学びの機会の創出					
実施 スケジュール	具体的な事業項目		R7 予算額 (千円)	R7	R8	R9
	a	羽黒地域のおしごとみ～つけた事業	175	○	○	

[参考資料]

○ これまでの事業内容 (R6)

事業名	事業概要	予算額 (千円)
羽黒地域のおしごとみ～つけた事業	地元小学生が職業人へインタビューや職業体験をして、地域の魅力を学びマップを作成	288

○ 実施事業

地域振興計画 基本方針 (総合計画 小項目)	(3) 活力ある地域づくりを担う地域コミュニティの推進				
主な施策	③ 住民の多様な課題に寄り添う仕組みづくり				
概要・目的	近年住民が抱える問題が複雑化・多様化している。これまでの分野別の相談支援体制では解決に結びつかないような地域生活の課題に対応するため「分野を問わない相談体制」「参加支援」「地域づくりに向けた支援」の3つの支援を一体的に実施する包括的な支援体制を整備する。				
具体的な展開方策	ア 地域の福祉関係機関の連携による共助の仕組みづくりの推進				
実施 スケジュール	具体的な事業項目		R7 予算額 (千円)	R7	R8
	a	羽黒地域ふらっといっぽ事業	300	○	○

[参考資料]

○ これまでの事業内容 (R6)

事業名	事業概要	予算額 (千円)
羽黒地域ふらっといっぽ事業	羽黒地域の福祉関係機関が協働で参加型事業を実施し、要支援者が地域に出るきっかけを作る	384

4. 櫛引地域

○ 地域の方向性

櫛引地域は、本市を代表する果樹の生産地であり、黒川能をはじめとする伝統芸能や、丸岡城跡及び加藤清正墓碑などの歴史遺産が数多く残る地域です。さらには、中央を南北に貫流する赤川や庄内が一望できる中山間地など豊富な地域資源を有しています。これらの特性を生かすことで、たくさんの人々が集い交流するにぎわいの創出と、地域住民が将来にわたって物心ともに豊かに暮らせる活力ある地域づくりをめざします。

櫛引地域における果樹生産の特徴である多品目・多品種生産と、観光果樹園や産直などの取組を生かし、「フルーツの里」としてのブランド化を図ります。また、農業体験など体験型観光の環境を整備し、都市部との交流人口の拡大を図るとともに、様々な地域資源を生かしながら、周辺地域との連携による広域観光圏の形成を推進します。

黒川能をはじめとする貴重な伝統芸能や歴史文化の保存と継承を支援し、情報発信や観光連携を進め、地域の活性化につなげます。

少子高齢化や人口減少などを見据え、住民の暮らしを守るための、地域コミュニティの維持活性化と、健康で安全安心な生活が送れる仕組みづくりを進めます。

○ 地域の基本方針

(1) フルーツの里づくりの推進と、地域資源の観光連携による魅力度の向上

櫛引地域の果樹生産の強みである多品目・多品種生産の特性を生かしたブランド化により、持続可能で経営力のある産地形成を目指すとともに、農業体験など体験型観光を推進し都市部との交流人口の拡大を図ります。また、出羽三山や加茂水族館等の鶴岡の大きな観光資源を核としながらも、近隣地域との連携による広域観光圏の形成を推進します。

[主な施策]

- ① 果樹生産基盤の強化
- ② フルーツの里ブランド化の推進
- ③ 体験型観光産業の振興
- ④ 地域資源を活用した観光振興の強化

(2) 黒川能など貴重な歴史文化の継承と活用推進

黒川能などの貴重な歴史文化を保存伝承していくため、地域全体でその価値を共有し、時代の変化に合った伝承の方策を探りながら新たな地域活動へつなげていきます。また、歴史文化の資源や遺産を活用した集客や利用拡大を進めることで、文化的歴史的価値の理解促進と、観光連携や地域の活性化を図ります。

[主な施策]

- ① 民俗芸能の継承支援
- ② 歴史文化の活用推進、観光連携

(3) コミュニティの活性化と明るく健康で暮らしやすい地域づくりの推進

地域コミュニティの役割が増す一方、その機能低下が懸念される中において、担い手の育成と集落自治体制を補完する広域コミュニティ組織の設置検討や、防災連携などの仕組みづくりを支援します。また、地域づくりとコミュニティ活性化のため、生涯学習の推進や、リーダーを育成する取組、ケーブルテレビを活用した地域情報の発信を進めます。併せて、健康増進のための拠点づくりの支援や新たな地域公共交通の確立など、健康で安全、安心に暮らせる環境整備を図り、明るく元気な地域づくりを推進します。

[主な施策]

- ① 活力と持続性のあるコミュニティの推進
- ② 協働のまちづくりと地域のにぎわい創出
- ③ 高齢者等の交通環境の支援
- ④ 健康で安全・安心な地域づくりの推進

○ 実施事業

地域振興計画 基本方針 (総合計画 小項目)	(1) フルーツの里づくりの推進と、地域資源の観光連携による魅力度の向上					
主な施策	① 果樹生産基盤の強化の推進					
概要・目的	担い手の育成や農業経営体の組織化、農業者の意向の把握など、円滑な園地継承の仕組みを構築するとともに、各種助成事業を積極的に活用し、施設の整備やスマート農業技術の導入など、果樹生産基盤の整備を促進する。					
具体的な展開方策	ア 担い手の育成と樹園地の継承 イ 果樹生産基盤の整備促進					
実施 スケジュール	具体的な事業項目		R7 予算額 (千円)	R7	R8	R9
	a	くしびきフルーツ振興プロジェクト事業	4,336	○	○	○
	b					

[参考資料]

○ これまでの事業内容 (R6)

事業名	事業概要	予算額 (千円)
くしびきフルーツ振興プロジェクト事業	①担い手の育成と樹園地の継承 ・ 櫛引地域果樹生産者の実態把握調査（全域） ・ 櫛引地域果樹振興意見交換会 ②フルーツの里ブランド化の推進 ・ 生産者の所得向上及び販路拡大の支援を目的とした、ふるさと納税事業者説明会 ③産地PR・観光果樹園等の誘客促進 ・ 多品目、多品種フルーツの食べ比べと料理教室等を組み合わせた体験型イベント ・ 関係機関と連携した首都圏プロモーション活動 ・ 「くしびきフルーツ日記」総集編の発行	5,782

○ 実施事業

地域振興計画 基本方針 (総合計画 小項目)	(1) フルーツの里づくりの推進と、地域資源の観光連携による魅力度の向上					
主な施策	② フルーツの里ブランド化の促進					
概要・目的	庄内地方で随一の多品目生産の果樹産地として、地域の持つ特徴を積極的にPRするとともに、付加価値を高める6次産業化を推進し、「フルーツの里」としてのブランド化を図る。					
具体的な展開方策	ア フルーツの里ブランド化支援 イ 果樹加工品の開発・販売支援					
実施 スケジュール	具体的な事業項目		R7 予算額 (千円)	R7	R8	R9
	a	くしびきフルーツ振興プロジェクト事業 [再掲]	4,336	○	○	○

[参考資料]

○ これまでの事業内容 (R6)

事業名	事業概要	予算額 (千円)
くしびきフルーツ振興プロジェクト事業 [再掲]	①担い手の育成と樹園地の継承 ・ 櫛引地域果樹生産者の実態把握調査 (全域) ・ 櫛引地域果樹振興意見交換会 ②フルーツの里ブランド化の推進 ・ 生産者の所得向上及び販路拡大の支援を目的とした、ふるさと納税事業者説明会 ③産地PR・観光果樹園等の誘客促進 ・ 多品目、多品種フルーツの食べ比べと料理教室等を組み合わせた体験型イベント ・ 関係機関と連携した首都圏プロモーション活動 ・ 「くしびきフルーツ日記」総集編の発行	5,782

○ 実施事業

地域振興計画 基本方針 (総合計画 小項目)	(1) フルーツの里づくりの推進と、地域資源の観光連携による魅力度の向上					
主な施策	③ 体験型観光産業の振興					
概要・目的	観光果樹園や農家民宿、櫛引たらのきだ이스キー場、ふるさとむら宝谷など、地域の施設を最大限に活用し、体験型観光等による都市部との交流人口の拡大を図る。					
具体的な展開方策	ア 観光果樹園等農業体験型観光の推進 イ 都市交流人口の拡大 ウ スキー場・ふるさとむら宝谷等の体験型観光の充実					
実施 スケジュール	具体的な事業項目		R7 予算額 (千円)	R7	R8	R9
	a	都市農村交流による農産物等販路拡大支援事業	174	○	○	○

[参考資料]

○ これまでの事業内容 (R6)

事業名	事業概要	予算額 (千円)
都市農村交流による 農産物等販路拡大 支援事業	都市農村交流を起点として農産物等の販路拡大を図るため、櫛引地域内の農業者で組織する団体が行う、都市農村交流による農産物販路拡大事業を支援する。 ・ 6月 青木小学校で稲作出前授業 ・ 10月 あおきふれあいまつりで物販事業	174

○ 実施事業

地域振興計画 基本方針 (総合計画 小項目)	(1) フルーツの里づくりの推進と、地域資源の観光連携による魅力度の向上					
主な施策	④ 地域資源を活用した観光振興の強化					
概要・目的	出羽三山や加茂水族館等の鶴岡の大きな観光資源を核としながらも、櫛引、朝日及び黄金地域一体を鶴岡市南部エリアと位置づけ、観光関係者相互の連携強化を促進する。また、それぞれが持つ地域資源の魅力度を高め、観光周遊ルートの形成や観光商品の開発、四季に応じた情報発信、デジタル技術の活用など観光PRを強化し、インバウンドを含め観光客の増加につなげる。					
具体的な展開方策	ア 南部(櫛引・朝日・黄金)広域観光の推進 イ 地域資源を活用した観光の推進 ウ インバウンド観光の推進					
実施 スケジュール	具体的な事業項目		R7 予算額 (千円)	R7	R8	R9
	a	鶴岡市南部エリア観光周遊促進事業	1,043	○	○	○
	b	横綱柏戸記念館活性化事業	450	○	○	○

[参考資料]

○ これまでの事業内容 (R6)

事業名	事業概要	予算額 (千円)
鶴岡市南部エリア観光周遊促進事業	鶴岡市南部広域ツーリズム調査業務委託 ・観光施設等の概要、誘客にあたっての課題についてのヒアリング調査 ・勉強会とワークショップの開催	1,043
横綱柏戸記念館活性化事業	鶴岡市横綱柏戸記念館活性化推進事業補助 ・学童相撲大会の開催 ・朗読劇 柏戸少年記の開催	450
櫛引ゆかりの偉人展示会開催事業	市(櫛引庁舎)に寄贈された作品等を荘銀タクトに展示 ・富樫実氏、森田茂氏、遠藤虚籟氏、横綱柏戸	1,622

	・ 8/9～11 に開催、およそ 300 人が来場	
--	---------------------------	--

○ 実施事業

地域振興計画 基本方針 (総合計画 小項目)	(2) 黒川能など貴重な歴史文化の継承と活用推進					
主な施策	① 民俗芸能の継承支援					
概要・目的	黒川能保存伝承研究会などの開催により黒川能の魅力を伝え、映像や音源の保存記録を活用した伝承支援や後継者育成支援を継続するとともに、文化的価値の情報発信を推進する。 また、天狗舞獅子舞などの民俗芸能の実態調査と課題の掘り起しなどを進め、継承活動を支援する。					
具体的な展開方策	ア 黒川能の後継者育成 イ 黒川能の保存伝承支援 ウ 各地区の伝統芸能の保存伝承支援 エ 黒川能の記録保存と活用					
実施 スケジュール	具体的な事業項目		R7 予算額 (千円)	R7	R8	R9
	a	黒川能保存伝承支援事業(後継者育成事業、黒川能保存会運営補助)	2,675	○	○	○
	b	能楽青年交流事業	400	○	○	○

[参考資料]

○ これまでの事業内容 (R6)

事業名	事業概要	予算額 (千円)
黒川能保存伝承支援事業	①後継者育成事業 櫛引東小学校児童へ現役能役者による黒川能の仕舞を指導 ②黒川能保存会運営補助 黒川能保存会の運営事務全般の補助	2,616
能楽青年交流事業	大学等能楽サークルの合宿招致、地元との交流、農業体験 ※コロナ禍で事業が途切れ、R6 は実施せず。	400

○ 実施事業

地域振興計画 基本方針 (総合計画 小項目)	(2) 黒川能など貴重な歴史文化の継承と活用推進					
主な施策	② 歴史文化の活用推進、観光連携					
概要・目的	丸岡城跡史跡公園と黒川能の里王祇会館への集客や利用拡大を、指定管理者やガイドの会など関係団体と一緒に進めるとともに、デジタル技術等を活用した地域の歴史文化の理解促進と、観光連携や地域の活性化を図る。					
具体的な展開方策	ア 文化的・歴史的価値の理解促進 イ 歴史文化施設(王祇会館・丸岡城跡等)の観光連携					
実施 スケジュール	具体的な事業項目		R7 予算額 (千円)	R7	R8	R9
	a	黒川能保存伝承支援事業(黒川能保存伝承支援事業、黒川能保存会運営補助(再掲))	2,763	○	○	○
	b	櫛引地域歴史文化施設ガイダンス整備事業	209	○	⊖	⊖
	c	櫛引地域歴史文化施設収益性向上支援事業	870	○	○	○

[参考資料]

○ これまでの事業内容 (R6)

事業名	事業概要	予算額 (千円)
黒川能保存伝承支援事業	①黒川能保存伝承支援事業 黒川能の里王祇会館第 15 回黒川能保存伝承研究会(黒川能体験の実演、鶴岡市国際観光大使による講演) ②黒川能保存会運営補助(再掲) 黒川能保存会の運営事務全般の補助	2,704
櫛引地域歴史文化施設ガイダンス整備事業	王祇会館内の解説パネル等をQRコードによるデジタル多言語化整備	700

○ 実施事業

地域振興計画 基本方針 (総合計画 小項目)	(3) コミュニティの活性化と明るく健康で暮らしやすい地域づくりの推進					
主な施策	② 協働のまちづくりと値域のにぎわい創出					
概要・目的	将来の地域づくりのリーダーを育成する取組や交流の場を創出するとともに、地域住民による花いっぱい運動等の活動や若者世代による「こしやってマルシェ」などの取組を支援し、協働のまちづくりとにぎわい創出を促進する。					
具体的な展開方策	ア 若者が活躍できる場の創出 イ 地域住民参加型による取組					
実施 スケジュール	具体的な事業項目		R7 予算額 (千円)	R7	R8	R9
	a	くしびき若者未来創造事業	623	○	○	○
	b	櫛引地域花いっぱい運動で環境美化推進事業	350	○	○	○
	c	くしびき夏のイベント推進事業	180	○	○	○

[参考資料]

○ これまでの事業内容 (R6)

事業名	事業概要	予算額 (千円)
くしびき若者未来創造事業	若者等によるワークショップ（全3回） ・前年度検討した事業（あかりづくり4回）を開催し、制作したあかりをゆ〜Townに展示	772
櫛引地域花いっぱい運動で環境美化推進事業	櫛引花と緑の会事業運営補助 ・国道112号沿いへのサルビア等の植栽事業を支援	350
くしびき夏のイベント推進事業	くしびき夏まつり開催事業補助 ・令和6年7月27日に開催されおよそ300人が参加	360

○ 実施事業

地域振興計画 基本方針 (総合計画 小項目)	(3) コミュニティの活性化と明るく健康で暮らしやすい地域づくりの推進					
主な施策	③ 高齢者等の交通環境の支援					
概要・目的	スクールバス住民混乗利用を継続するとともに、現在実証実験事業として実施しているデマンド交通の確立を図り、子どもや高齢者など交通弱者の生活支援を行う。					
具体的な展開方策	ア スクールバス住民混乗利用の継続 イ デマンド交通の推進					
実施 スケジュール	具体的な事業項目		R7 予算額 (千円)	R7	R8	R9
	a	櫛引地域デマンド交通運営事業	0 (一般財化)	○	○	○

[参考資料]

○ これまでの事業内容 (R6)

事業名	事業概要	予算額 (千円)
櫛引地域デマンド交通導入事業	①櫛引地域デマンドタクシー（実証実験運行）運営補助 ・ 櫛引地域デマンド交通運営協議会に対する運行経費補助 ②利用拡大策の実施 ・ 周知啓発（チラシ住民配布、包括支援センター連携） ・ 無料体験利用券交付 ③利用者ニーズ調査の実施 ④運行内容の検証・運行改善 ・ 実証実験運行から本格運行へ移行（R6. 11. 18） ・ 市街地への運行拡大（R7. 4. 1）	4,832

○ 実施事業

地域振興計画 基本方針 (総合計画 小項目)	(3) コミュニティの活性化と明るく健康で暮らしやすい地域づくりの推進				
主な施策	④ 健康安全・安心な地域づくりの推進				
概要・目的	交通安全対策や防犯活動を推進するとともに、幼少期の教育支援や、くしびき温泉ゆーTownを核とした健康増進、住民同士の語らいや交流活動の取組を促進することで、明るく健康で生きがいのある地域づくりを推進する。				
具体的な展開方策	ア 交通安全・防犯対策の推進 イ 明るく健やかな地域づくりの推進				
実施 スケジュール	具体的な事業項目		R7 予算額 (千円)	R7	R8
	a	ゆーTown 活性化事業	800	○	○

[参考資料]

○ これまでの事業内容 (R6)

事業名	事業概要	予算額 (千円)
ゆーTown 活性化事業	①販売促進業務 ・キッズスペースの設置、バスグッズ作製 ・SNSを活用した情報発信 ②健康増進活動業務 ・若年層向けの運動器具整備、「親子卓球教室」の開催	800

5. 朝日地域

○ 施策の方向性

朝日地域は豊かな森林資源に恵まれ、自然と調和した歴史と文化が育まれてきた地域です。

一方で、全国的にも有数の豪雪地帯であり、山間地という地理的条件上、平野部と比較すると厳しい住環境にあり、人口減少や少子高齢化の傾向が特に顕著となっています。

住民が住み慣れた地域で安全にいきいきと暮らしていけるよう、生活環境の整備や住民による生活基盤の維持、強化への支援に加え、地域を支える人材育成・確保やデジタル技術のモデル活用などにより、中山間地域の暮らしを守り支える取組を進めます。

これまでの農業基盤や生産技術に創意工夫を加えた農業施策や担い手の育成・確保、森林資源を活用した振興方策により農地や山林の荒廃を食い止め、農林業の持続的な振興を図ります。

また、豊かな自然や山岳信仰など、多種多様な観光資源を組み合わせ、地域内の自然や歴史、伝統文化、食の魅力を存分に楽しめる環境を整備し、交流人口の拡大による観光振興を推進します。

○ 地域の基本方針

(1) 中山間地域における定住環境の支援

地域住民が住み慣れた地域で安全安心にいきいきと暮らしていけるよう、生活環境の整備や支援を行います。また、住民による生活基盤の維持、強化に係る取組を支援するとともに、地域課題の解決に地域が主体的に取り組める環境づくりに向けて、地域を支える人材の育成・確保を進めます。あわせて、地域資源である自然環境を生かした次世代を担う人材の育成や、デジタル技術のモデル活用などを推進します。

[主な施策]

- ① 地域防災力の確保と防災基盤の強化
- ② 次世代へつなげる活力を育む地域コミュニティづくりの推進
- ③ 地域の実情や需要に応じた地域内交通の確保
- ④ 豪雪地帯における克雪対策への支援
- ⑤ 地域で支え合う福祉支援体制の充実
- ⑥ 森林資源と自然環境を活用した自然環境教育の実践
- ⑦ 中山間地域の課題解決に向けたデジタル技術の活用

(2) 森林資源、自然環境などを活用し、中山間地に特化した農林業の振興

これまでの農業基盤や生産技術に創意工夫を加えた農業施策を推進し、農産物の流通体系の整備、地域特産品の販売支援、特産品の開発、既存商品の価値向上に取り組むとともに、農地保全のための地域組織活動への支援などを通して、農村集落機能の維持をめざします。また、広大な森林資源を活用した特用林産物の生産支援などを行い、山林の荒廃防止と資源循環をめざします。

[主な施策]

- ① 中山間地域における持続可能な農業経営への支援
- ② 農地・山林保全による農林業の生産活動と農村集落機能の維持

(3) 自然、文化、風土など、地域資源を活用した観光の振興

豊かな自然や山岳信仰など、多種多様な観光資源を組み合わせた通年型観光による誘客を推進します。また、観光団体等との連携を強化し、地域にある自然や歴史文化、食の魅力を存分に楽しめる環境づくりを通して地域資源の高付加価値化を進め、地域の活性化につながる観光振興をめざします。

[主な施策]

- ① 通年で選ばれる観光拠点施設の環境整備と人材育成の支援
- ② 観光団体等との連携による地域資源活用の推進

○ 実施事業

地域振興計画 基本方針 (総合計画 小項目)	(1) 中山間地域における定住環境の支援					
主な施策	② 次世代へつなげる活力を育む地域コミュニティづくりの推進					
概要・目的	地域の実情に応じた既存集落の維持を支援する。また、広域的な視点による集落間の連携強化をめざし、地域課題解決に向けて主体的に取り組む地域団体や若者組織、持続可能な地域運営組織の育成を支援するとともに、活動拠点となるコミュニティ施設などの整備を推進する。あわせて、交流事業や地域資源を活用した関係人口の創出・拡大と人材育成を推進する。					
具体的な展開方策	ア. 地域の実情に応じた集落対策の推進 イ. 地域や若者が主体となり地域課題解決に取り組む仕組みづくりの推進 ウ. 広域コミュニティ組織の運営支援と拠点施設の整備 エ. 地域資源を活用した交流促進と関係人口の拡大					
実施 スケジュール	具体的な事業項目		R7 予算額 (千円)	R7	R8	R9
	a	大泉地域ビジョンスタートアップ支援事業	545	○	○	○
	b	朝日地域若者語らいの場ありのまま未来プロジェクト事業	400	○	○	
	c	朝日地域山の恵み産地化事業	1,600	○	○	○

[参考資料]

○ これまでの事業内容 (R6)

事業名	事業概要	予算額 (千円)
朝日地域若者語らいの場ありのまま未来プロジェクト事業	若者が集い語らい、交流活動を通して行う地域・人づくりを支援	228
朝日地域山の恵み産地化事業	団体が行う販売目的の特産品収穫出荷等への支援 特産品の創出、生産拡大・維持の取組、地域特産物の収穫栽培技術研修・体験イベント開催への支援	1,600

○ 実施事業

地域振興計画 基本方針 (総合計画 小項目)	(1) 中山間地域における定住環境の支援					
主な施策	③ 地域の実情や需要に応じた地域内交通の確保					
概要・目的	学校、病院などの生活利便施設への交通を確保するため、地域の実情や需要に応じた、利用者の視点に立った地域内交通対策を推進する。					
具体的な展開方策	ア. 地域内生活交通の確保と調査・研究への支援 イ. 高校生通学費への支援					
実施 スケジュール	具体的な事業項目		R7 予算額 (千円)	R7	R8	R9
	a	朝日地域大鳥地区移動支援モデル事業	433	○	○	

[参考資料]

○ これまでの事業内容 (R6)

事業名	事業概要	予算額 (千円)
朝日地域地域内交通調査研究事業	地域の意向を反映し、需要に合った地域内生活交通のあり方の調査と研究会・研修会の開催を支援	1,900
朝日地域大鳥地区移動支援モデル事業	大鳥地区の住民向けに試験的に実施する移動支援事業を支援	310

○ 実施事業

地域振興計画 基本方針 (総合計画 小項目)	(1) 中山間地域における定住環境の支援					
主な施策	④ 豪雪地帯における克雪対策への支援					
概要・目的	雪による経済的及び精神的負担を軽減する克雪対策の取組を進め、定住環境の整備を推進する。					
具体的な展開方策	ア. 克雪住宅・克雪小規模生活道整備への支援 イ. 地域と連携した除排雪の推進					
実施 スケジュール	具体的な事業項目		R7 予算額 (千円)	R7	R8	R9
	a	朝日地域助け合い玄関前除雪支援事業	330	○	○	○

[参考資料]

○ これまでの事業内容 (R6)

事業名	事業概要	予算額 (千円)
朝日地域助け合い 玄関前除雪支援事業	広域コミュニティ組織が行う高齢者世帯等の玄関前除雪事業への支援	330
朝日地域安全・安心な除排雪支援事業	除排雪作業時の安全対策講習や地域共助による除雪体制の仕組みづくりに向けた研修会を開催	150

○ 実施事業

地域振興計画 基本方針 (総合計画 小項目)	(1) 中山間地域における定住環境の支援					
主な施策	⑤ 地域で支え合う福祉支援体制の充実					
概要・目的	近隣住民による地域支え合いの仕組みづくりや、福祉団体等関係機関との連携による地域資源を活用した包括的な取組を通して、地域住民が住み慣れた地域で安心して健やかに暮らし続けるため、地域福祉支援体制の充実を図る。					
具体的な展開方策	ア. 近隣住民による支え合いの仕組みづくりへの支援 イ. 地域資源活用による包括的な取組の推進 ウ. 国保直営診療施設の機能維持					
実施 スケジュール	具体的な事業項目		R7 予算額 (千円)	R7	R8	R9
	a	かたくり温泉運営支援事業	10,500	○	○	○
	b	朝日地域フレイル予防事業	2,000	○	○	○

[参考資料]

○ これまでの事業内容 (R6)

事業名	事業概要	予算額 (千円)
かたくり温泉運営 支援事業	温泉利活用による地域住民の健康増進とコミュニティ活動の充実を図り、暮らしやすい地域づくりを推進するため、温泉運営を支援	10,500
朝日地域フレイル予 防事業	地域住民同士が支えあい、健康長寿の延伸とフレイル予防推進のため、高齢者を対象とした介護予防事業及び高齢期前の年代を対象としたフレイル予防事業を実施する事業者への支援	2,000

○ 実施事業

地域振興計画 基本方針 (総合計画 小項目)	(1) 中山間地域における定住環境の支援					
主な施策	⑥ 森林資源と自然環境を活用した自然環境教育の実践					
概要・目的	豊かな森林資源と自然環境を活用し、次世代を担う子どもたちをはじめとした市民への自然環境教育の実践を推進する。					
具体的な展開方策	ア. 自然に親しみ触れながら学ぶ自然環境教育の推進と実践 イ. 「大鳥自然の家」の整備					
実施 スケジュール	具体的な事業項目		R7 予算額 (千円)	R7	R8	R9
	a					

[参考資料]

○ これまでの事業内容 (R6)

事業名	事業概要	予算額 (千円)
大鳥自然の家環境 教育推進事業	大鳥地区の自然環境を活用した環境教育プログラムの開発	380

○ 実施事業

地域振興計画 基本方針 (総合計画 小項目)	(1) 中山間地域における定住環境の支援					
主な施策	⑦ 中山間地域の課題解決に向けたデジタル技術の活用					
概要・目的	中山間地域の課題解決に向け、デジタル技術を活用した市民サービスの提供、地域づくり活動での活用支援、地域デジタル人材の育成を推進する。					
具体的な展開方策	ア. デジタル技術のモデル活用					
実施 スケジュール	具体的な事業項目		R7 予算額 (千円)	R7	R8	R9
	a	朝日地域共創プロジェクト支援事業	280	○		

[参考資料]

○ これまでの事業内容 (R6)

事業名	事業概要	予算額 (千円)
朝日地域共創プロジェクト支援事業	自治振興会が取り組むデジタル人材育成事業、地域住民を対象にしたスマホ教室実施を支援	300

○ 実施事業

地域振興計画 基本方針 (総合計画 小項目)	(2) 森林資源、自然環境などを活用し、中山間地に特化した農林業の振興					
主な施策	① 中山間地域における持続可能な農業経営への支援					
概要・目的	出荷手段を持たない高齢者などの生産者に対して支援を行うことで生産意欲を喚起し、生産量の拡大をめざす。また、朝日地域の特産である山ぶどうをはじめとする醸造用ぶどうを活用した月山ワインや山菜、朝日産そばなど、地域内農産物の生産振興や新たな特産品の開発と販売への支援、交流などによる販路拡大のための取組を推進する。あわせて、地域農業の担い手となる若者農業者等の育成・強化を図る。					
具体的な展開方策	ア. 地域内農産物・特産林産物の集出荷支援 イ. 地域内農産物の生産振興支援 ウ. 栽培技術研修・体験イベント支援 エ. 特産品開発・販売支援、交流による販路拡大 オ. 地域農業を支える担い手等の育成・確保 カ. 誰でも気軽に利用できる居場所を形成し賑わいづくりを支援					
実施 スケジュール	具体的な事業項目		R7 予算額 (千円)	R7	R8	R9
	a	朝日地域山の恵み産地化事業(再掲)	1,600	○	○	○
	b	朝日地域拠点形成事業	610	○	○	○

[参考資料]

○ これまでの事業内容 (R6)

事業名	事業概要	予算額 (千円)
朝日地域山の恵み 産地化事業 (再掲)	団体が行う販売目的の特産品収穫出荷等への支援 特産品の創出、生産拡大・維持の取組、地域特産物の収穫 栽培技術研修・体験イベント開催への支援	1,600
朝日地域若者農業 者支援事業	若者農業者の交流を支援し、農業、農村を支える人材を育成	350

○ 実施事業

地域振興計画 基本方針 (総合計画 小項目)	(2)森林資源、自然環境などを活用し、中山間地に特化した農林業の振興					
主な施策	② 農地・山林保全による農林業生産活動と農村集落機能の維持					
概要・目的	地域の共同活動による農用地、水路、農道などの適切な保全管理や持続可能な地域組織活動への支援を通して、農村集落機能の維持をめざす。また、特用林産物の生産量確保と販売につながる生産者支援を通じて、間伐材等の木材の活用を促し、山林の荒廃防止対策を推進する。あわせて、鳥獣被害防止対策への支援強化の取組を推進する。					
具体的な展開方策	ア. 農地保全のための地域組織活動への支援 イ. 鳥獣被害防止対策への支援強化 ウ. 生産者支援による山林荒廃防止対策の推進					
実施 スケジュール	具体的な事業項目		R7 予算額 (千円)	R7	R8	R9
	a	朝日地域山の恵み産地化事業(再掲)	1,600	○	○	○

[参考資料]

○ これまでの事業内容 (R6)

事業名	事業概要	予算額 (千円)
朝日地域山の恵み 産地化事業 (再掲)	団体が行う販売目的の特産品収穫出荷等への支援 特産品の創出、生産拡大・維持の取組、地域特産物の収穫栽培技術研修・体験イベント開催への支援	1,600

○ 実施事業

地域振興計画 基本方針 (総合計画 小項目)	(3) 自然、文化、風土など、地域資源を活用した観光の振興					
主な施策	① 通年で選ばれる観光拠点施設の環境整備と人材育成の支援					
概要・目的	通年型観光の拠点施設である湯殿山スキー場やあさひ家族キャンプ村、道の駅「月山」月山あさひ博物村など地域の魅力ある観光資源の組み合わせによる誘客を図るため、計画的な環境整備を推進するとともに、拠点施設におけるインフォメーション機能の整備やガイドなどの人材育成を支援する。					
具体的な展開方策	ア. 通年型観光拠点施設等の整備推進 イ. インフォメーション機能向上と人材育成の支援					
実施 スケジュール	具体的な事業項目		R7 予算額 (千円)	R7	R8	R9
	a	六十里越街道魅力発信事業	550	○	○	○

[参考資料]

○ これまでの事業内容 (R6)

事業名	事業概要	予算額 (千円)
六十里越街道魅力 発信事業	地域の若者を対象にした古道歩きイベント・SNS講習会開催への支援	220

○ 実施事業

地域振興計画 基本方針 (総合計画 小項目)	(3) 自然、文化、風土など、地域資源を活用した観光の振興					
主な施策	② 観光団体等との連携による地域資源活用の推進					
概要・目的	日本遺産の構成文化財である湯殿山や六十里越街道、大鳥池や以東岳をはじめとする朝日連峰の豊かな自然環境、また、地域の歴史から積み重ねられた生活様式、食文化など観光資源の複合的な活用を進めるとともに、近隣地域との連携により地域資源の魅力を高めて交流人口の拡大を図る。あわせて、観光団体等と連携し、情報発信の強化と受入環境整備の取組を推進する。					
具体的な展開方策	ア. 地域資源の複合的な活用による交流人口の拡大 イ. 近隣地域との連携による広域観光の推進 ウ. 観光情報発信の強化と受入体制の整備					
実施 スケジュール	具体的な事業項目		R7 予算額 (千円)	R7	R8	R9
	a	六十里越街道魅力発信事業(再掲)	550	○	○	○
	b	桧原二ノ俣峠越山道復元事業	100	○	○	
	c	朝日地域観光あいのりタクシー運行事業	850	○	○	
	d	大鳥池避難小屋衛星通信実証実験事業	820	○	○	○

[参考資料]

○ これまでの事業内容 (R6)

事業名	事業概要	予算額 (千円)
六十里越街道魅力 発信事業(再掲)	地域の若者を対象にした古道歩きイベント・SNS講習会 開催への支援	220
桧原二ノ俣峠越山道 復元事業	登山道利用を目指し、関係団体へ刈払い、看板設置等への 支援	100
朝日地域観光あいの りタクシー運行事業	登山・観光シーズン中の二次交通確保の取組	910

6. 温海地域

○ 地域の方向性

温海地域は、あつみ温泉に代表される観光資源や食文化、伝統文化、自然など多様な地域資源を有し、27 集落がそれぞれの特性を生かした活動を展開してきました。地域資源を保存し継承するだけでなく、様々に組み合わせて活用することで新たな価値を生み出し、地域住民がいきいきと暮らすことができる地域づくりを進めます。

代表的な観光資源であるあつみ温泉については、温泉街の景観づくりや賑わいづくりを促進し、魅力ある温泉観光地をめざします。

日本海沿岸東北自動車道（以降「日沿道」）の延伸を契機として、地域産業の活性化や鼠ヶ関地域への誘客とその周辺への経済効果を生み出せるような取組を進めます。

豊富な地域資源を生かした体験型観光の推進や、多様な人材を地域づくりに生かす仕組みを構築し、交流人口や関係人口の拡大による地域活性化を図ります。

豊かな自然に育まれ、変化に富んだ地形と歴史に培われた農林水産資源や伝統産業を継承しつつ、温海地域独自のブランドと持続可能な営農体制を構築し、地域特性を生かした農林水産業の振興を推進します。

自然環境や地理的に不利な条件下でも、住民がいつまでも住み続けられるように、集落の自治機能の維持と生活環境の維持向上を図ります。また、地域への愛着を育む取組を進めるとともに、次代を担う人材を育成します。

○ 地域の基本方針

（1）あつみ温泉と道の駅を拠点とした地域振興

あつみ温泉は、令和 3 年に開湯 1200 年を迎えた歴史ある温泉地です。令和元年 10 月に国民保養温泉地に指定されており、この知名度と地域資源を生かしながら、温泉街の賑わいづくりに取り組みます。また、官民が連携し、温泉街の観光施設や景観、環境の整備、魅力ある店舗づくりを進め「そぞろ歩き」を楽しめる温泉街として、日沿道開通後も通過点ではなく目的地となるような魅力ある温泉観光地をめざします。

また、日沿道の延伸に伴い鼠ヶ関 IC（仮称）周辺に道の駅あつみの移転整備が進められており、鼠ヶ関及び周辺地域の魅力向上による誘客促進と庄内浜産魚介類を活用した漁業のまち鼠ヶ関の知名度向上を図り、地域経済に効果をもたらす取組を進めます。

〔主な施策〕

- ① あつみ温泉街の魅力の向上
- ② あつみ温泉街の賑わいづくり
- ③ 新道の駅を活用した地域振興
- ④ 既存「道の駅」の有効活用に向けた検討と施設整備
- ⑤ 鼠ヶ関地内の賑わいづくり

(2) 自然・歴史・文化を生かした交流人口、関係人口の拡大

温海地域が有する豊富な自然や産業、伝統文化を活用した体験型観光や教育旅行の受入れを推進し、交流人口の拡大を図ります。また、地域を離れた人材や地域と多様な関わりや想いを持つ人材を地域づくりに生かす仕組みを構築します。

〔主な施策〕

- ① 体験型旅行による交流人口の拡大
- ② 地域資源の活用による交流人口の拡大と地域活性化
- ③ 関係人口拡大の仕組みづくり

(3) 地域特性を生かした農林水産業の振興

豊かな自然や変化に富んだ地形、歴史を背景とした特色ある農林水産資源や焼畑などの伝統手法を守り継承しつつ、温海地域独自のブランドと持続可能な営農体制を構築します。また、新たな道の駅を視野に、少量多品種であっても稼げる仕組みづくりにより、地域特性を生かした農林水産業の振興を図ります。

貴重な地域資源である国指定の伝統的工芸品「羽越しな布※」の継承、振興を支援します。

〔主な施策〕

- ① 地域の食文化継承とブランド化
- ② 少量多品種栽培を生かした農産物の生産振興
- ③ 持続可能な営農体制の構築
- ④ 地域資源を活用した農山村集落の活性化

(4) 海・山・自然豊かに暮らし続けられる環境整備

地域内の集落が有している特色ある自治機能を大切に、それぞれの集落が将来にわたって自治機能を維持し、コミュニティ強化を図る取組を支援します。温海地域の自然環境や地理的条件を踏まえ、地域住民が安心して暮らし続けるために、地域に適した公共交通体系の構築やデジタル活用を進め、生活環境の維持向上を図ります。

また、少子高齢化が進む中で、高齢者が活躍する場の創出を図るとともに、郷土愛の醸成や教育環境の充実に取り組み、子育て世代に選ばれる魅力のある地域をめざします。

あわせて、地域内にある遊休資産を活用し、地域活力の創造につなげる取組を進めます。

[主な施策]

- ① 地域コミュニティの基盤強化
- ② 資源を生かした地域活力の創造
- ③ 地域に適した公共交通網の形成と通学環境整備
- ④ 高齢者がいきいきと暮らせる環境づくり
- ⑤ 地域でささえあう環境づくり
- ⑥ 地域で育む子育て・教育環境の充実

○ 実施事業

地域振興計画 基本方針 (総合計画 小項目)	(1)あつみ温泉と道の駅を拠点とした地域振興					
主な施策	③ 新道の駅を活用した地域振興					
概要・目的	道の駅あつみの移転整備事業において、温海らしさを盛り込み地域産業の活性化に向けて官民が連携し取組を進める。					
具体的な展開方策	ア. 温海地域産直活動組織の育成と取組への支援 イ. 地元産食材を活用した魅力的な商品展開					
実施 スケジュール	具体的な事業項目		R7 予算額 (千円)	R7	R8	R9
	a	温海地域小ロット農産物生産振興事業	265	○	○	○
	b	道の駅あつみ商品開発プラットフォーム事業	500	○		

[参考資料]

○ これまでの事業内容 (R6)

事業名	事業概要	予算額 (千円)
温海地域小ロット農 産物生産振興事業	新たな道の駅を見据え、少量多品種の農産物等の生産振興を図るため、販売活動の推進と地産地消の拡大に向け、令和4年設立された産直活動組織「あつみ旬菜会」の活動を支援する。 ①産直組織活動円滑化支援事業 ②地産地消の拡大事業	215

○ 実施事業

地域振興計画 基本方針 (総合計画 小項目)	(1)あつみ温泉と道の駅を拠点とした地域振興				
主な施策	⑤ 鼠ヶ関地内の賑わいづくり				
概要・目的	漁業のまち鼠ヶ関の知名度向上の取組を支援し、鼠ヶ関に観光客を誘導する仕組みづくりや観光地としての魅力づくりを進める。				
具体的な展開方策	ア. 道の駅での地元水産物販売の取組への支援 イ. 鼠ヶ関水産イベントへの誘客と滞在型観光の促進				
実施 スケジュール	具体的な事業項目		R7 予算額 (千円)	R7	R8
	a	温海地域水産物販売実証実験事業	540	○	

[参考資料]

○ これまでの事業内容 (R6)

事業名	事業概要	予算額 (千円)
温海地域水産物販売実証実験事業	温海地域で水揚げされる水産物に対する観光客や市民の需要、販売に向けた課題などを把握するため、鮮魚等販売等の実証実験事業に対し支援する。 令和 9 年開業予定の新道の駅においては、地元産の鮮魚等を取り扱った事業展開が期待されており、実証実験事業を通して、「漁業のまち鼠ヶ関」のイメージ構築を目指す。 ①実証実験として「さがなあや」を年 4 回実施(年間 60 日程度) ②「紅えび」を使用した目玉商品開発	540

○ 実施事業

地域振興計画 基本方針 (総合計画 小項目)	(2) 自然・歴史・文化を生かした交流人口、関係人口の拡大				
主な施策	① 体験型旅行による交流人口の拡大				
概要・目的	体験型観光や教育旅行の受け入れなどの取組を支援し、交流人口の拡大を推進する。				
具体的な展開方策	ア. 教育旅行や体験型観光の誘致促進				
実施 スケジュール	具体的な事業項目		R7 予算額 (千円)	R7	R8
	a	温海地域体験旅行推進事業	2,300	○	○

[参考資料]

○ これまでの事業内容 (R6)

事業名	事業概要	予算額 (千円)
温海地域体験旅行 推進事業	温海地域全体をフィールドに、SDGs教育旅行の誘致や体験型観光の受入を行う「NPO 法人自然体験温海コーディネット」の活動を支援し、交流人口の拡大と着地型観光の促進を図る。	2,400

○ 実施事業

地域振興計画 基本方針 (総合計画 小項目)	(2) 自然・歴史・文化を生かした交流人口、関係人口の拡大					
主な施策	③ 関係人口拡大の仕組みづくり					
概要・目的	ア. 関係人口※の創出と拡大の仕組みづくり					
具体的な展開方策	地域外の人と地域をつなぎ継続的に関わる仕組みを構築するとともに、地域内外の若者の交流を促進する。また、首都圏の子育て家族が短期滞在を通じて、生活、食、文化を体感し住民との交流により、温海のファンとなる取組を進める。あわせて、地域おこし協力隊※などの外部人材活用制度の活用等により、地域の活力向上に取り組む。					
実施 スケジュール	具体的な事業項目		R7 予算額 (千円)	R7	R8	R9
	a	温海地域支援ネットワーク推進事業	580	○	○	○
	b	温海地域家族まるごと移住体験事業	5,314	○	○	○
	c	温海地域教育環境充実事業 (地域おこし協力隊)	5,200	○	○	

※関係人口

移住した「定住人口」でもなく、観光に来た「交流人口」でもない、地域や地域の人々と多様に関わる人々のこと。

※地域おこし協力隊

総務省の外部人材活用制度の一つで、地方自治体が、都市住民を受入れて委嘱し、地域おこし活動の支援や農林漁業への応援、住民の生活支援など地域協力活動に従事してもらい、あわせて定住・定着を図りながら、地域の活性化につなげるもの。

[参考資料]

○ これまでの事業内容 (R6)

事業名	事業概要	予算額 (千円)
温海地域支援ネットワーク推進事業	人口減少が背景となって発生する諸課題の解決、地域の活性化を図るため、地域を離れた人材や地域と多様な関わりや想いを持つ人材(関係人口)を、新たな「地域の担い手」として受け入れるための仕組みづくりを進める。 ①温海地域若者ネットワーク創出 ・地域内の若者のワークショップ等による交流 ②温海地域関係人口拡大推進	958

	・地域の若者と首都圏等の若者で構成する団体「温海の関係人口を増やす会（略称：あつかん）」の活動を支援する。	
温海地域家族まるごと移住体験事業	都市圏在住で、子どもの教育に熱心な親世代に、自然豊かな地での保育、体験の場を提供し、親子と温海地域との関わりしろを作り、移住・二地域居住を目指す。	6,190
温海地域教育環境充実事業 （地域おこし協力隊）	地域の教育環境の充実のため、地域おこし協力隊を1名配置し、地域と学校の連携・協働による中学校への学習支援の充実や、新学習指導要領にも定められた「生きる力」「非認知能力」を育む教育を推進する。 ※地域おこし協力隊制度を活用	5,335

○ 実施事業

地域振興計画 基本方針 (総合計画 小項目)	(3)地域特性を生かした農林水産業の振興				
主な施策	① 地域の食文化継承とブランド化				
概要・目的	古くから栽培されている在来作物などの栽培技術の継承や認知度向上を図る。さらに「焼畑あつみかぶ」「越沢三角そば」等の在来作物のブランド力を高め、さらに販路を拡大する取組を支援する。				
具体的な展開方策	ア. 在来作物「焼畑あつみかぶ」の生産振興 イ. 在来作物「越沢三角そば」の生産振興				
実施 スケジュール	具体的な事業項目		R7 予算額 (千円)	R7	R8
	a	温海地域在来作物振興事業	1,295	○	○

[参考資料]

○ これまでの事業内容 (R6)

事業名	事業概要	予算額 (千円)
温海地域在来作物 振興事業	①焼畑あつみかぶの振興 焼畑あつみかぶブランド力向上対策協議会が取り組む活動を支援し、更なるブランド化と生産振興、後継者育成を図る。 ②越沢三角そばの振興 まやのやかた越沢三角そば生産組合が取り組む活動を支援し、「越沢三角そば」の振興による交流人口の拡大を図る。	1,357

○ 実施事業

地域振興計画 基本方針 (総合計画 小項目)	(3)地域特性を生かした農林水産業の振興				
主な施策	② 少量多品種栽培を生かした農産物の生産振興				
概要・目的	産直活動組織の活動を支援するとともに、少量多品種栽培を生かした農産物の生産振興を図る。				
具体的な展開方策	ア. 温海地域産直活動組織の育成と取組への支援 イ. 小規模な農地等で栽培されている少量多品種農産物の生産振興				
実施 スケジュール	具体的な事業項目		R7 予算額 (千円)	R7	R8
	a	温海地域小ロット農産物生産振興事業 (再掲)	265	○	○

[参考資料]

○ これまでの事業内容 (R6)

事業名	事業概要	予算額 (千円)
温海地域小ロット農 産物生産振興事業 (再掲)	新たな道の駅を見据え、少量多品種の農産物等の生産振興を図るため、販売活動の推進と地産地消の拡大に向け、令和4年設立された産直活動組織「あつみ旬菜会」の活動を支援する。 ①産直組織活動円滑化支援事業 ②地産地消の拡大事業	215

○ 実施事業

地域振興計画 基本方針 (総合計画 小項目)	(3)地域特性を生かした農林水産業の振興				
主な施策	④ 地域資源を活用した農山村集落の活性化				
概要・目的	伝統的工芸品「羽越しな布※」の振興を図るため、後継者育成や経営体制強化の取組を支援する。				
具体的な展開方策	ア. 伝統的工芸品の伝承と地場産業の振興				
実施 スケジュール	具体的な事業項目		R7 予算額 (千円)	R7	R8
	a	温海地域伝統的工芸品振興事業	490	○	○

※羽越しな布

本市関川地域と新潟県村上市雷、同山熊田の 3 地域で継承されているしなの木の樹皮を原料とした織物で、伝統的工芸品産業の振興に関する法律(昭和 49 年 5 月 25 日、法律第 57 号)に基づき、経済産業大臣より平成 17 年 9 月 22 日に「羽越しな布」として指定

[参考資料]

○ これまでの事業内容 (R6)

事業名	事業概要	予算額 (千円)
温海地域伝統的工芸品振興事業	国の伝統的工芸品に指定されている「羽越しな布」の保存継承に取り組む羽越しな布振興協議会の活動を支援する。 ①後継者育成事業 ②需要開拓・販路開拓事業	1,044

○ 実施事業

地域振興計画 基本方針 (総合計画 小項目)	(4)海・山・自然豊かに暮らし続けられる環境整備					
主な施策	④ 高齢者がいきいきと暮らせる環境づくり					
概要・目的	高齢者がこれまで培ってきた経験や能力を生かし、健康でいきいきと暮らせる環境づくりを推進する。					
具体的な展開方策	ア. 高齢者のいきがづくり・健康づくりの推進 イ. 身近な通いの場づくりの支援					
実施 スケジュール	具体的な事業項目		R7 予算額 (千円)	R7	R8	R9
	a	温海地域養蚕環境整備事業	783	○		
	b	温海地域支え合い訪問活動事業	80	○	○	○

[参考資料]

○ これまでの事業内容 (R6)

事業名	事業概要	予算額 (千円)
温海地域養蚕環境 整備事業	福栄養蚕振興会による養蚕の取組を支援し、「鶴岡シルク タウンプロジェクト」の推進と地域活性化、高齢者の生き がづくりを促進する。	783

○ 実施事業

地域振興計画 基本方針 (総合計画 小項目)	(4)海・山・自然豊かに暮らし続けられる環境整備				
主な施策	⑥ 地域で育む子育て・教育環境の充実				
概要・目的	豊かな自然環境、伝統文化、産業など地域資源を活用し、保育園から中学校まで一貫した生きる力を育む教育(SEL※)を推進する。また、中学生を対象として、地域の人材やICTを活用し学習支援を行うあつみ地域未来塾の取組を支援するなど子育て・教育環境の充実と郷土愛の醸成を図る。				
具体的な展開方策	ア. 生きる力を育む教育の推進 イ. 地域の教育環境の充実				
実施 スケジュール	具体的な事業項目		R7 予算額 (千円)	R7	R8
	a	温海地域生きる力を育む教育推進事業(R7 事業名変更)	1,277	○	○

※SEL(Social&Emotional Learning)

社会的能力と気持ちに関わる能力を伸ばす学び。子どもの自尊心、好奇心、発想力、想像力などを高め、学力だけでなく社会で生き抜く力、豊かで強い心を育む教育

[参考資料]

○ これまでの事業内容 (R6)

事業名	事業概要	予算額 (千円)
温海地域自然資源を生かした教育環境整備による定住促進事業	温海地域の豊かな自然と文化資源を生かし、「生きる力」を高め豊かな心を育む教育(SEL)プログラムを実践するための環境整備に取り組む。また、本取組を積極的に情報発信する。 ①地域の特色を体験できる保育園づくり支援 ②小中学校授業への取組に向けた研修、訪問指導 ③SEL セミナー等の実施による取組紹介	1,316